

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部2年 牧岡里歩

① 学習成果

今回の延世大学スプリングスクールのプログラムを終えて、また韓国へ留学に行きたいと強く思いました。授業はもちろんのこと街中でも韓国語が必要になるので、3ヶ月でも語学力がかなり鍛えられたのですが、語学堂は1ターム3ヶ月とのことで正規に通っている生徒さんと同じようにもっと長く滞在すればその分だけもっと実力もつくだろうと感じました。今回は語学堂の2級で学習したのですが、3級以降も学びに行きたいです。また、語学堂の同じクラスにはアメリカやカナダ、中国、ベトナム、ルーマニアなど様々な国籍の生徒がいて、年齢や韓国語を学ぶ目的も人それぞれでした。授業のテーマで自分の国の美味しい食べ物や自分の故郷はどのようなところかをクラスメイトと話す機会があったのですが、多種多様な生活があることを感じ非常に面白かったので韓国だけでなく世界中の文化に興味が湧きました。

② 海外での経験

日本と韓国は比較的似た生活だと思っていて、渡航後もやはり似ている部分が多いと感じたのですが少し違う部分も見つかりました。まず、大学の学生食堂や街のご飯屋さんではキムチやナムルなどのおかずがセルフ形式で好きなだけ食べられることが多かったです。交通費に関してはかなりお得で、バスからバスへの乗り換えや電車からバスへの乗り換えが30分以内であれば無料でした。そして、韓国はかなりキャッシュレス化が進んでいて、市場での食べ歩きや交通カードへのチャージなど現金でしかできない場合を除き、ほとんどの人がカードで支払いをしていた印象です。

③ プログラム内容

語学堂では9時から13時まで4時間授業を行い、語彙と文法・会話と書き・聞き取りと読解の3つを学びました。1級から6級までである中、私は2級のクラスで学習したのですが、調理実習のような時間も設けられていてとても楽しかったです。3つの分野の中で私は会話と書きが一番難しいと感じました。この授業ではその日のテーマ（故郷・ショッピングなど）に合わせて自分の意見を言うことが多かったのですが、自分の言いたいことをなかなか韓国語で言えず最初は少しもどかしく感じました。しかし授業を重ねるにつれて次第に慣れていきまし、会話練習は日本ではなかなかできないので、語学堂に行ったからこそ強化できた部分だと感じています。

④ 進路への影響

私は当プログラム参加前から漠然と海外に関わる仕事がしたいと思っていましたが、3週間のプログラムを終えて日本と海外を繋げる仕事に就きたいという思いがより強くなりました。語学堂のクラスには想像以上に様々な国から韓国語を学びにきた人たちがいて、「日本が好きで…」 「日本へ旅行に行つて…」 などといった話をしてくれるクラスメイトもいました。私はこれがすごく嬉しくて、日本の魅力をもっと伝えられるようになりたいと感じました。これから3年生になり就活を始める予定なのですが、自分の就活の軸を見つけれられた気がします。

お世話になった人へ韓国語で一言

삼주일 동안 정말 감사합니다. 반갑습니다!

講義の感想

In Mr Kahm' s class, I was able to learn about the World War from a fairly objective standpoint. The Cold War between the U.S. and Russia divided the Korean peninsula into North and South Korea, and a cease-fire still exists today. I was impressed by the story that the U.S. had Korea under its control and military occupation, and that anti-Japanese ideas were powerful from 1910 to 1945. It was interesting because it also dealt with topics such as the Korean president' s first visit to Japan in 20 years.